

三世代でつながり、笑顔が広がる広報誌

No. _____

455

2026.07

ぼらんていあ だより

僕の頭に合う
ヘルメットが
欲しい。

写真でひとこと 3月号(No.453)

優秀賞

優秀賞の他、秀逸賞を
Instagramで発表中！
是非ご覧ください！！



来るべき時に備える

特集

豊田市災害ボランティア
コーディネーター養成講座



ぼらんていあ
だより

CONTENTS

【特集】

豊田市災害ボランティア
コーディネーター養成講座

- 登録ボランティア紹介
- コーディネート事例

- ボランティア募集情報
- ボランティアの輪
- 応募コーナー「写真でひとこと」
- お便りコーナー
- ボラセンからのお知らせ



豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター

本誌の発行には
共同募金配分金が使われています

来るべき時に備える

＝ 豊田市 ＝ 災害ボランティア コーディネーター 養成講座

災害ボランティア コーディネーターの役割

発災時、豊田市内の復興・被災者の自立支援のために災害ボランティア支援センターを立ち上げます。

社会福祉協議会と共に災害ボランティアセンターの運営を行い、被災者と支援に来た人の調整を図る役割を持ち、被災現場に派遣するまでの調整をしたり、活動後の状況把握に努めたりするのが、災害ボランティアコーディネーターです。

災害ボランティアコーディネーター養成講座は年に1度の開催です。この機会に是非お申し込みください。



災害発生

災害ボランティアセンター



災害ボランティア
コーディネーター

- ・被災状況・ニーズの把握
- ・相談窓口の設置
- ・支援の受付・調整
- ・支援活動の状況把握

災害ボランティアセンターとは？

災害ボランティアセンターは、大規模災害時に被災者とボランティアをつなぎ、支援活動を円滑に進めるための組織です。被災地の復興や被災者の自立支援を目的に、支援を必要とする住民が相談しやすい環境を整えるとともに、ボランティアが安全かつ円滑に活動できるよう調整を行います。

また、被災地の状況やニーズの把握、被災者の不安軽減や安心感の確保にも重要な役割を果たしています。

養成講座の修了者は
なんと、約1000人!!





【養成講座 実施要領】

主催 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 / 共催 豊田市

開催日時		開催内容
1日目	9月12日(土) 午後1時～午後4時	[講義]災害ボランティア支援センターとは？ 災害ボランティアコーディネーターについて
2日目	10月18日(日) 午前9時～午後4時	[実技]災害ボランティア支援センター運営訓練 コーディネーターの役割(ボランティア役の体験)
3日目	11月15日(日) 午前9時～午後4時	[実技]災害ボランティア支援センター運営訓練 コーディネーターの役割(コーディネーター役の体験)
4日目	11月28日(土) 午前9時～午後4時	[実技]災害ボランティアニーズ受付訓練

開催場所

豊田市福祉センター
(豊田市錦町1丁目1番地1)

参加条件

豊田市内に在住、在学、在勤の
高校生以上の方で、全日程受講
でき、災害発生時にコーディネ
ーターとして活動できる方

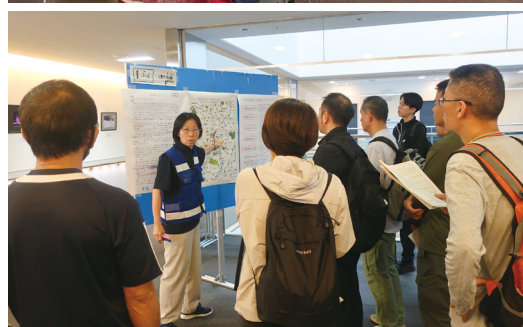
参加定員

70名(先着順)

参加申し込み

8月1日(土)午前9時～8月29日(土)午後5時15分まで

右の二次元コードもしくは、8ページ最下段記載の
電話・FAX・メールからお申し込みください



登録ボランティアグループ紹介



登録グループ名

益富蛍友会

ますとみ
けいゆうかい

活動内容

蛍の保護、育成、環境整備

活動拠点のホタル小屋でホタルを育成したり、樫尾川の環境を整えてホタルが住みやすいように草刈りなど川の整備をしています。毎年6月には益富交流館と協力してホタル観賞会を開催しています。

また、こども園・小中学校などでホタル環境講座を行い、こども園の児童たちとはホタルの放流もしています。

発足のきっかけ 益富地区にホタルを

昔は益富地区にも蛍がいた！でも宅地開発などの環境の変化でいなくなっていました。

そこで40数年前にホタルを復活させたいという声に応え、益富地区ホタルの里研究会が発足しました。

そしてさらに月日が経ち、その中の有志によって平成13年に「益富蛍友会」ができました！今年でなんと25周年です！現在12人のメンバーで活動しています。

メッセージ ホタルや自然が好きな方

ホタルに興味がある方はもちろんですが、自然が好きな方も一緒に活動しませんか？樫尾川の環境維持などを通して自然に親しみましょう！

作業をしながらのおしゃべりも、日々の活動の楽しみの一つだったり(笑)、益富地区に住んでいなくても大歓迎♪

また自分の住んでいる地区にもホタルを復活させたいと思っている方、出張講座や研修も受け入れていますので、お気軽にお問い合わせくださいね～！



このグループに
興味のある方、依頼したい方
また取材を希望のグループは
ぜひ社協までお問い合わせください

活動場所 豊田市立益富中学校 西側エリア

ボランティアセンターでの
コーディネート事例

「腸から元気に！」 広がる思い

きっかけ PROLOGUE

令和5年度、もっと地域に寄り添った病院を目指したいと、家田病院に地域コミュニティ課が新設されました。病院としてどのように地域貢献をしたらよいかを模索する中、社協CSWに相談が入りました。

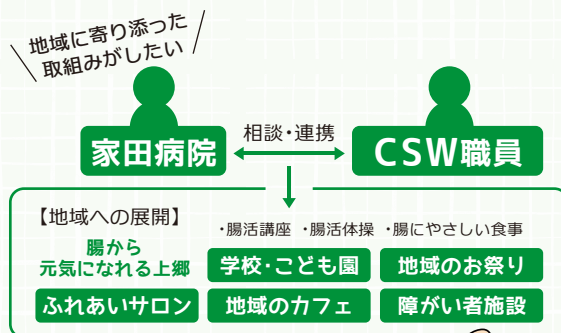
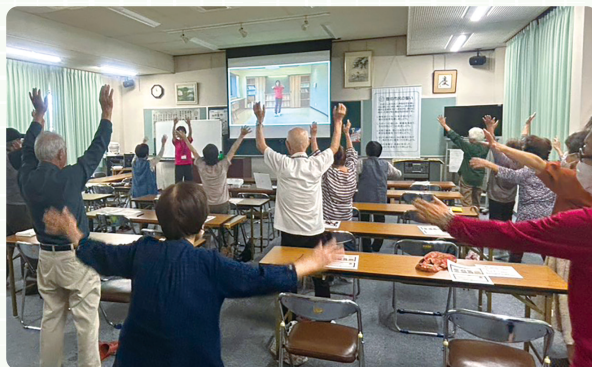
話し合いを繰り返し、家田病院の特徴を活かして、「腸から元気になれる上郷」をスローガンに健康づくりの取組みを進めていくことになりました。



それから… AFTER THAT

CSW職員は、家田病院が実施する腸活出前講座を地域のふれあいサロンや学校、こども園などへ周知し、地域全体で健康づくりを広める活動を行いました。地域のカフェでは、管理栄養士監修による腸にやさしい病院食レシピを提供。さらに令和7年からは、家田病院オリジナルの腸活体操を各地で実施し、地域のお祭りでは50名以上が参加しました。

また、障がい者施設では、施設職員や管理栄養士がボランティアと連携し、利用者さんへ腸に配慮した温かく美味しい食事を提供することができました。



CSW(コミュニティソーシャルワーカー)は、「どこに相談すればいいかわからない悩み」を受け止め、支援者や関係機関につないだり、課題の解決に向け一緒に考えたりする“地域の身近な相談者”であることも役割のひとつです。

地域の方の声

VOICE

腸活の取組みにより、「便がよく出るようになった」「決まった時間に便が出るようになり生活のリズムが整った」といった声が聞かれたほか、小学生からも「朝に便を済ませてから学校へ行けるようになった」「便が出やすくなった」といった感想が寄せられました。

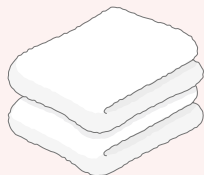


社協 DE 集めています!

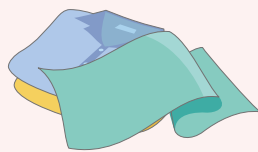
「集める」ことは、
気軽にできる
ボランティア活動♪



☑ 毛糸(未使用)



☑ タオル(未使用)



☑ 端切れ布



利用
方法

地域や施設での作品づくりに使用し、地域貢献に活用しています

豊田市福祉センター2階窓口、社協支所・出張所の各窓口で回収しています。

＼ぼくも!!!
＼わたしも!!!

ボランティアの輪

加茂丘高校 地域探究部

社会福祉協議会50周年イベントでも
バルーンアートの配布を行いました

加茂丘高校地域探究部では、地域のイベントのボランティアに力を入れて活動を行っています。特に、バルーンアートの技術を磨いて、地域の方々に喜んでいただいています。

先日、藤岡交流館を会場に行われた「ふじおかプレミアム」でもバルーンアートの配布を行い、多くの方々に笑顔にすることができました。



ふじおかプレミアムで
バルーンアートの配布を
行いました♪



毎回の部活動でバルーンアートの練習をしています。ボランティアで出会った方々に様々な作品やそれらをきれいに作るコツを教えてください。

これからも様々な技術を習得して、活動の幅を広げ、地域を盛り上げていきたいと思っています。

応募コーナー

写真でひとこと

右の写真を見て思いついた、「ひとこと」を投稿する大喜利コーナーです。たくさんのご応募をお待ちしています！

楽しい！おもしろい！と思える回答の中から一部を次号以降、本誌で掲載します。

応募の中から5名の方に500円分の図書カードをプレゼントします。

応募方法は、裏表紙記載のボランティアセンター住所宛にハガキを投函する方法と、応募フォームから入力する方法があります。

応募フォーム



2026年9月20日(日)必着

【当選は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます】



今号の写真

お便りコーナー

応募の中でいただいたご感想を紹介します。たくさんのご応募お待ちしております！

初めての応募フォーム

自分の知らないボランティアや活動状況が分かり勉強になります。

また、今回初めて応募フォームを利用しました。手軽で便利なのでありがたいです。

身近なものから意外なものまで、ボランティアは本当にたくさんあります！これからぼらんていあだよりを通して、皆様を紹介していきます！今後もお気軽に応募フォームからご応募ください！



写真でひとこと

写真でひとこと、3歳の子が考えてくれました。笑

ご応募いただきありがとうございます！お子さんと一緒に考えている姿を想像するだけで、とても微笑ましいです！今後もお応募お待ちしております！



私にもできることが

私にも何かできることがあるかかもしれないと思いました。登録を考えます。

あなたの長所を活かした「何か」が必ず見つかるはずです！是非ボランティア登録をお待ちしております！相談だけでも構いませんので、お気軽にお問い合わせください。



◀ボラセンからのお知らせ▶

とよた こどもの支援ネットワーク 交流会

講師 岡崎 勝さん

こどもの居場所づくりに関わる支援者が集い、学びや交流を通して実践のヒントや気づきを深める交流会です。

開催日時 8月18日(火)
午後1時30分～午後3時

場所 豊田市福祉センター
41会議室+オンライン配信

申込み 専用フォーム・
電話・FAX・メール

参加費 **無料**



各助成金の詳細は
ボラセンまで

助成金のご案内

【助成金①】 こどもの居場所づくりを応援

こどもが安心して過ごせる「こどもの居場所」活動のスタートアップを支援する助成金の申請を受付中です。

対象	助成額
市内で月1回以上18歳までの子ども支援を行う、設立3年以内の登録ボランティア団体	・1年目：上限10万円 ・2年目：上限5万円 ・3年目：上限3万円

【助成金②】 ボランティア団体の活動を応援

地域の福祉活動を推進するため、ボランティア団体の活動費を助成しています。

対象	助成内容
会費等の自己負担をして活動している登録ボランティア団体 (法人格の団体は対象外)	研修費、消耗品、備品、通信費など、活動に必要な経費を助成 (上限2万円、負担額の1/2以内)

福祉体験 作文コンクール

児童・生徒が体験する福祉やボランティアを通して感じた思いや学びを作文に表現し、福祉の心を広げることを目的に福祉体験作文を募集します。

応募内容

学校での福祉実践教室やボランティア活動等の体験、地域や家庭、身近なところでの体験について、自分の考えや感じたことの作文

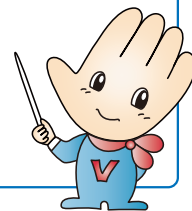
- ・応募作品は未発表のものに限りです
- ・応募作品は返却いたしません

応募対象

豊田市内の小・中・高校および特別支援学校の児童・生徒

申込み

9月11日(金)必着
提出書類を郵送または持参でお申し込みください



ばらんていあだよりに関するお問い合わせ

発行No.455 | 2026年7月号(隔月発行)



豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1-1(豊田市福祉センター2階)
TEL. 0565-31-1294 / FAX. 0565-33-2346
MAIL. vc@toyota-shakyo.jp



WEBサイト

<https://vc.toyota-shakyo.jp>

SNS



Instagram▶

◀Youtube

